



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：サウジトップ100企業ランキングの発表

(11月28日付「アラブニュース」紙)

「アラブニュース」紙は、2007年のサウジトップ企業ランキングを発表し、特集記事を掲載。

1. 日本との関係

(1) サウジアラビアは、日本の原油輸入量の25 - 30%を輸出しており、安倍前首相のサウジ訪問後の指示により、日本は投資とエネルギーの安定供給に関する閣僚級会合を開催することに合意した。日本の中村大使は、「サウジの“Look East”政策が日本・サウジ関係を新たな高みに引き上げるだろう。ペトロラービグ・プロジェクトはその好例である。2008年に完工すれば、一度に建設された石油精製・石化プロジェクトとして最大級となる。年産240万トンの固体及び液体の石化製品、ガソリン、その他の精製製品が生産される」と述べた。

(2) 同記事に掲載された日本関連ビジネス

住友化学・サウジアラムコによるペトロラービグ・プロジェクト

SABICが東洋エンジニアリングに70万トンのエチレングリコール・プラントを発注。

千代田化工建設がInternational Methanol Companyの日産2900万トンのメタノール・プラントを受注

SHARQ(三菱商事・SABICのJV)が20億ドル規模の拡張

丸紅・伊藤忠・日揮がペトロラービグ・プロジェクト向け独立発電海水淡水化事業を受注

ユニチャームが衛生事業を拡大

サウジアラムコが昭和シェル石油に出資

2. 中国との関係

中国との関係は、新しい形をとりつつあり、石油取引にとどまることなく遙か先に進んでおり、中国が来るべき機会を注視していることから、更に発展すると思われる。

3. インドとの関係

(1) 昨年アブドラ国王がインドを訪問した後、サ우드外相、ヤマニ商工相、ナイミ石油相らが相次いで同国を訪問した。アラブとイスラム社会へ多大な影響力をもつサウジは、インドにとり第一の原油輸入元であり、同国の多くのホワイトカラー、ブルーカラーの重要な雇用者であり、年間15万人のインド人がサウジに巡礼に訪れる。サウジにとってインドは、原油や他のエネルギー製品の大きな市場であると同時に、技術導入を行う元でもあり、更には、他のアジア諸国との関係強化の入り口になると考えている。

(2) 2006 - 07年、サウジの対インド輸出額は約134億ドル、対インド輸入額は約26億ドルで、インドの対サウジ投資は約10億ドル、サウジの対インド投資は約1.8億ドル。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799